

なみ 14号

わたしがすき
なかまがすき
ふるさがすき

手洗いコンテスト開催

梅雨明けとともに猛暑がやってきて、熱中症に気をつけなければならない毎日が続いています。油断をすれば体調を崩しがちなこの時期、熱中症とともに気をつけたいのが、食中毒などの感染症です。自分で自分の健康に気をつけ、毎日の生活でできることに取り組んでいこうと、6月26日（木）と27日（金）の20分休みに、保健委員会が『手洗いコンテスト』を開いてくれました。まずは、ブラックライトに当てると目に見えない汚れが白く光る、手洗いチェッカーローションを手に塗ります。その後は、手洗い場でハンドソープをしっかりと泡立てて、手を洗います。子どもたちの頭の中には、事前に見た手洗い動画の曲「♪おねがい〜 おねがい〜 カメさん……」が流れているようでした。最後にもう一度、ブラックライトでチェック。白く見えるところがなくなり、上手に洗えていることが確認できた人には、保健委員会から手洗いマスター認定証が送られました。

健康に気を付ける気持ちや態度は育てることを目的に、今回は手洗いに取り組みました。生活ががんばりカードや歯みがき、食の指導も、目的は同じです。学校ではいろんな取組を通して、健康に対する子ども達の意識を高めていきます。



辞書引き大会

7月1日（火）、辞書引き大会を実施しました。デジタル全盛期の今さら、何で辞書引きをとお思いになるかもしれませんが、辞書引きにはアナログならではのたくさんの教育的効果があります。調べる過程で自然と語彙や知識が増えること、たくさんある情報から必要なものを選択するスキルが向上すること、集中力や探求心の高まりが期待される等が、代表とされるものですが、何より知らないことを自分で調べて分かるようになる習慣が身に付くことは、これからの学びを支える大きな力になります。スタートから終了までのアナウンスの間、教室では黙々とページをめくる子ども達が集中してがんばる姿が見られました。結果は後日、図書だよりでお知らせします。

